

光星学院の歩み紹介

歌とダンスで60年の歴史を表現したミュージカル



園児から学生660人歌やダンスで

創立60周年記念ミュージカル上演

経済人だった創立者の中村由太郎さんが学校経営に踏み出すまでの道のり、その娘キヤさんが時代の流れをくみ取りながら進めた改革の様子を芝居で表現。八戸学院大、同大短期大学の学生を中心にした役者陣が、熱量あふれる演技に乗せて、法人の設立、発展に関わった二人の情熱を客席に届けた。物語の合間には、園児や生徒らが、園や学校の魅力をパフォーミングでPR。野辺地西高の空手、光星高のチアリーディングなどが登場し、迫力たっぷりの演技で会場を盛り上げた。八戸学院幼稚園、聖アンナ幼稚園、第二ののめ幼稚園の園児たちは、かわいらしい歌やダンスを披露した。同大短期大学の学生約100人による八戸小唄流し踊りも注目を集めた。ミュージカルでキヤさん役を演じた同大短期大学部2年の横濱菜々子さん(20)は「緊張はあったけど、堂々と演じることができて良かった。この節目の時期に舞台へ参加できて、とても光栄」と笑顔で振り返った。

八戸

学校法人光星学院(法官新一理事長)は8日、八戸市公会堂で創立60周年記念ミュージカル「北の大地に60年」を上演した。法人に所属する幼稚園、高校、大学に通う約660人が歌やダンスと共に、学院の歩みを紹介した。

(小林彩乃)



生き生きとした表情でキヤさん役を演じる横濱菜々子さん